

令和5年度 第3回技術研修会のご案内

日 時	令和5年11月8日(水) 13:30～16:30
会 場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主 催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後 援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
テ ー マ	「熊本城復興と筑後川改修」
研修項目	(1) 13:40～15:00 「熊本城～熊本地震からの復旧に向けて」 熊本市文化市民局 熊本城総合事務所 復旧整備課長 岩佐 康弘 氏 2016年4月の熊本地震により被災した熊本城。それから5年後の2021年3月に熊本のシンボルでもある天守閣が復旧完了し、同年6月から一般公開を開始。2022年度の入園者が地震以来7年ぶりに100万人を突破するなど、かつての賑わいを取り戻してきました。しかし復旧に向けた道のりはまだまだ長く、今後も被災した石垣や櫓等の建造物の復旧事業は続きます。これまでの取り組みを振り返りながら熊本城の今をお伝えします。 (2) 15:10～16:30 「筑後川本格改修100周年～これからの治水～」 国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 総括地域防災調整官 熊井 教寿 氏 事業対策官 松永 泰裕 氏 河川環境課長 山下 浩史 氏 大正12年、久留米市に「筑後川改修事務所」が設置され、本格的な河川改修が始まり、今年で100周年を迎えます。その間、昭和28年6月には未曾有の大水害が発生し、その後、河川改修やダム建設などが進められ安全・安心の地域社会の形成に大きく貢献してきました。先人たちが筑後川の治水・利水に働きかけてきた、これまでの100年話と近年、筑後川流域では再び水害が頻発しており、地球温暖化に伴い、洪水・渇水のリスクを踏まえ流域全体のあらゆる関係者が協働して行う水災害対策「流域治水」について、筑後川流域の実例を用いてわかりやすく説明します。
対 象 者	地方公共団体等職員、建設事業関係者(県内優先)、一般の方(大学生以上)
定 員	300名
参 加 料	無 料
申込方法	当機構のホームページ(https://www.sagacat.or.jp/gi_jyutsukensyuu.html)よりお申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。 『研修情報』→『技術研修会』→『令和5年度第3回技術研修会申込』をクリック!
申込期間	令和5年10月16日(月)14:00～令和5年10月27日(金)17:00 (定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施。) 令和5年10月30日(月)14:00～令和5年11月6日(月)17:00 予定
問合せ先	(公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-97-5596
そ の 他	(1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 (2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(一社)建設コンサルタンツ協会CPDの認定プログラムに申請しています。